

# 嫁入り船復活プロジェクト 「水郷の花嫁さんは船で行く」



新潟県 新潟市  
横越コミュニティ協議会



## 3 活動の成果や波及効果等

写真コンテストの同時開催や事前に観覧スポット等を紹介することで観覧者が増え、認知度も上昇しています。また今年は、出発セレモニーの開催や花嫁花婿の公募、運行ルートを変更して阿賀野川から満願寺閘門を通る当時の舟運風景を復活させ、魅力を増やしました。さらに、江南区のPR事業の一環として、嫁入り船運航中の様子が動画撮影され、区を代表するイベントとしてSNS等で発信されました。嫁入り船の復活は、地域のお年寄りからも『懐かしい風景を見られた。』との喜びの声が聞かれ、行く先々で地元の方々から祝福に包まれる温かい光景は、後世へと語り継ぎたい地域の宝です。



地元中学生によるお祝い吹奏楽演奏



祝福に笑顔で答える花嫁花婿



手を振り祝福する地域の住民



船上がり場でのお出迎え

**所在地**  
新潟県新潟市江南区横越・沢海・木津・小杉

**活動主体及び連絡先**  
横越コミュニティ協議会 (025-385-2111)

**対象となる社会資本**  
一級河川 ①阿賀野川 ②小阿賀野川  
※管理者：①国土交通省 阿賀野川河川事務所  
②新潟県 新潟地域振興局 新潟地域整備部



## 1 社会資本の概要

阿賀野川は、栃木・福島県境の荒海山に源を発し、広大な流域と長大な流路を持つ日本有数の大河です。上流の福島県側は阿賀川と呼ばれています。新潟県内の流域は、山間部では溪谷美を見ながらの舟下り、また、平野部では河川公園等の親水空間に人々が集

い、滔々とした流れは人々に親しまれています。小阿賀野川は、新潟市満願寺で阿賀野川から分かれて信濃川に合流している川で、阿賀野川と信濃川を結ぶ船の道として、さらには、阿賀野川の水量を調節する重要な役割を果たしてきました。



阿賀野川と小阿賀野川



満願寺閘門と小阿賀野川

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

かつて陸路がまだ整備されていなかった頃、対岸への行き来は渡し船を使って行われていたと伝えられています。その懐かしい風景を復活させ、人口減少や少子化が進む地域の活性化の一助にしようと婚活事業の一環として始まったプロジェクトです。白無垢姿の花嫁と、紋付き袴姿の花婿が、地域で唯一の船大工による手作りの木船に乗り込み、阿賀野川

～満願寺閘門～小阿賀野川と川を下ります。その後、地域にある国の登録有形文化財「豪農の館 北方文化博物館」を人力車で回遊し人前式を執り行います。地元中学校吹奏楽部によるお祝い演奏や行く先々で観覧者が手を振り祝福します。観覧者を増やすための工夫として写真コンテストを同時開催しています。令和元年度で6年目を迎えました。



地域唯一の船大工による手作りの木船で川を渡る花嫁と花婿



阿賀野川と小阿賀野川を結ぶ満願寺閘門を通る嫁入り船



人力車での回遊

## 喜びの声



**受賞者**  
横越コミュニティ協議会  
会長 佐藤 正明

**コメント**  
今回の受賞をきっかけに、横越という地域の魅力を知っていただく機会となったことを大変嬉しく思っております。また、この事業に関わってくださった全ての皆様に、心より感謝申し上げます。今後ますます地域活性化の一助となり、地域住民に愛される事業となるよう取り組んで参りたいと思います。

**活動の内容**  
・嫁入り船復活プロジェクト  
・阿賀野川総合学習(小学4年生)  
・チューリップ染めコサージュ作り  
・旧国道街灯及び地下道清掃 など

**活動の経緯**  
平成18年 協議会設立(5月)  
平成26年 嫁入り船復活プロジェクトを開始  
以後、活動を継続中

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編